



陽だまり

発行日：2013年9月23日

発行：グリーンコープ生協（長崎）理事会



最後まで走り抜けた

グリーンコープ共生・平和長崎自転車隊

（長崎南部 原ひとみ）

娘が参加した子どもたちとお母さんの感想を特集しました。

今回初めて娘が参加しました。朝早くから自転車をこいで所々休憩をはさみながら笑顔で走っていましたが、小長井の海沿いの道ではとてもきつそうな顔で通っていったので心配でした。次の休憩所で声をかけると笑顔にもどり「大丈夫、大丈夫」とまた元気に走っていきました。2日目の、日見峠では歯を食いしばってきつそうに長い登り坂を登って行きました。私はただただ「がんばれ〜がんばれ〜」と声をかけるしか出来ずもどかしい思いでした。最後はとびっきりの笑顔でゴールし、嬉しさと感動でいっぱいでした。本人のがんばりとそれを支えて下さったスタッフのみなさん、沿道で応援してくれた組合員のみなさん、そして一緒に走った班のみんなのおかげで無事125km完走できました。こんな感動を体験させてくれた娘に感謝でいっぱいです。ありがとう。

今回は参加した子どもたちとお母さんの感想を特集しました。



グリーンコープでは毎年8月8日〜9日の2日間、柳川から爆心地長崎までの125kmを不戦を誓い平和を祈りながら自転車隊で走る「共生・平和長崎自転車隊」に取り組んでいます。



僕が自転車隊に出ようと思ったのは、自転車で長く走れるという軽い気持ちでした。しかし、不戦のゼッケンをつけての125km、一番きつかったのは、小長井の坂道と日見峠でした。長崎市内に入ってからは、外国人からも写真に撮られました。平和のついでには、平和について考えました（山上 颯太 中一）

初めての自転車隊で、最後まで完走出来るか、ケガしないか、自転車が壊れないか色々心配でした。小長井や日見峠できつくて何度もリタイヤしようと思ったけど沿道でみんなが「がんばれ〜がんばれ〜」と応援してくれたのでリタイヤせず最後まで完走できました。応援の力ってすごいなって思いました。（原 愛優 中一）



途中きつくて何度もリタイヤしようと思ったけど仲間が助けられたり、たくさんの方の声をもらえたので最後まで走り抜けることができました。平和の大切さを実感した夏になりました。（草野 由依 中一）



折り鶴お礼

組合員のみなさん平和の折り鶴のご協力ありがとうございました。みなさまから集まった3550羽で千羽鶴を作成し、8月9日に爆心地公園慰霊碑に奉納しました。



今年度は（長崎）から3名の子どもたちが自転車隊に参加しました。来年はキミの番だ!! 参加をまってるよ。